

佐潟自然情報

【12月】

12月、師走(しわす)の季節です。22日の冬至で昼の長さが一番短い日となります。

17日頃からの寒波で、佐潟は真っ白な銀世界。水気を含んだ雪がドッシリ積もりました。その後は、徐々にとけて雪はすっかり消えてしまいました。

雪が降った潟では、シャーベット状になった氷の上でも休むハクチョウやカモたちがとけているところに集まっているようでした。

また、自然生態観察園は雪でヨシが倒れてあたりが見やすくなりました。秋の名残り、ヘクソカズラの実などが見られます。

冬本番、佐潟の冬を探しに防寒対策をしっかりとって出かけてみませんか。



〈 佐潟の様子 〉

■12月に見られたもの

〔植物〕

ノゲシ、セイヨウタンポポ、カタバミ、シロツメクサ、オオマルバノホロシ、ガマ、オオバコ、
エノコログサ、アキノウナギツカミ、セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギ、キツタ、
キカラスウリ、アオツツラフジ、ヘクソカズラ、ヒヨドリジョウゴ、ガガイモ、スイカズラ、
ヤツデ、ヤブツバキ、アオキ、モッコク、トベラ、エノキ、タチヤナギ、コブシ、オニグルミ、
ナワシログミ、タブノキ、エゴノキ、ノイバラ、シロダモ、ハマナス、ネムノキ、サルスベリ



〈 ヘクソカズラ (実) 〉



〈 ガマ (穂) 〉



〈 スイカズラ 〉

〔鳥類〕

キジ、ヒシクイ、マガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、オオバン、タゲリ、タシギ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、アオジ、オオジュリン



〈 ヒドリガモ 〉



〈 ミコアイサ 〉



〈 コゲラ 〉



〈 ツグミ 〉

〔その他〕

オオカマキリの卵のう、ジョロウグモの卵のう、
コイ、



〈 オオカマキリの卵のう 〉



〈 ジョロウグモの卵のう 〉



〈 野鳥の足跡 〉